JTG証券
Jトラスト グローバル証券

News Release

2026 年 11 月 17 日
Jトラストグローバル証券株式会社

関係者各位

分配金利回り実績 20%超の海外 ETF を JTG 証券が取扱い開始！
― 一定の株価下落に備えながら、定期的なインカム収益を追求 ―

JTG 証券（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：矢田耕一）は、2026 年 11 月 17 日より、「オートコール」の仕組みを活用し、一定の株価下落に備えながら、分配金利回り実績年率 20%超（※）となる毎月分配を行う、ファースト・トラスト社の海外 ETF（以下、「本 ETF」という。）の取扱いを開始いたしました。

「オートコール」とは、契約により、連動の対象として参照する金融指標等の変動があらかじめ決められた条件を満たしている限り、定期的にクーポン収益を受け取ることができる一方で、所定の条件に合致した場合には当該契約が自動的に解除される仕組みのことをいいます。本 ETF では、個別の米国大型株を参照する複数の「オートコール」の損益特性を活用し、株価上昇による値上がり益を放棄する代わりに、一定の株価下落に備えながら、高いクーポンを原資とする分配金による収益の獲得を目指します。

足元の米国株式市場では、金融政策の先行きに加え、AIブームの持続性や政策動向などを巡る不透明感から、今後、株価変動が大きくなる可能性があります。そのような中、本 ETF をポートフォリオに組み入れることで、単一銘柄へのリスク集中を抑えながら、一定の下落局面においても、毎月の分配を通じて分配金利回り実績 20%超（※）となる高水準の収益を追求することができます。このため、相場の上昇だけに頼らず、定期的なインカム収益を追求するお客さまにとって、新たな投資先のひとつになるものと当社は考えております。さらに、値上がり益とは異なる収益機会を取り入れることで、ポートフォリオの分散にもつながります。

JTG 証券は引き続き、商品ラインナップの拡充を通じて、お客さまに多様な投資先と運用機会を提供して参ります。

（※）本 ETF の分配金利回りは、2026 年 10 月 30 日時点で年率 22.49%です。直近の分配金を年率換算し、基準価額で除して算出しております。また、分配金利回りは将来の運用成果を示すものではなく、分配金の額は変動し、将来の分配を保証するものではありません。

■新規取扱い銘柄および「オートコール」について

ティッカー	銘柄名	取引所
ACYQ	FT Vest Autocallable Barrier & High Income ETF	NYSE Arca
	参照銘柄の一定程度の株価下落による影響を排除しつつ、投資家への高水準の分配金提供を目指したアクティブ運用を行います。金融機関とのスワップ契約を通じて、理論上組成された約 12 本の米国株式を対象とするオートコールの成果に連動するリターンの提供を目指します。	

運用会社：ファースト・トラスト社（米国）
海外 ETF HP：https://www.jtg-sec.co.jp/foreign_equity/etf.htm

【「オートコール」とは】

「オートコール」とは、契約により、連動の対象として参照する金融指標等（本 ETF では米国株式）の変動があらかじめ決められた条件を満たしている限り、定期的にクーポン（利息にあたる収入）を受け取ることができる一方で、所定の条件に合致した場合には当該契約が自動的に解除される仕組みです。株価上昇による値上がり益を放棄する代わりに、一定の条件のもとで比較的高いクーポン収益の獲得を目指す点に特徴があります。

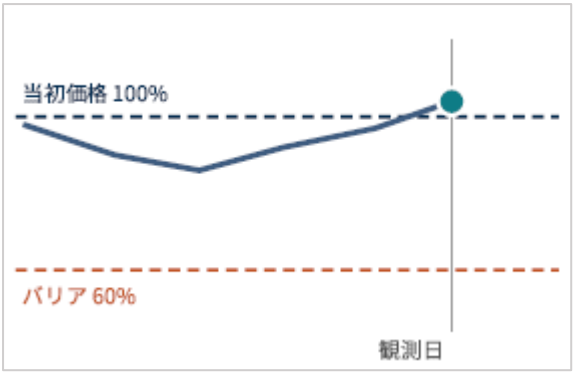
【本 ETF における「オートコール」の主なポイント】

- **スワップ取引等を通じて損益特性を再現**
  本 ETF は、金融機関とのスワップ契約等を通じて、理論上組成された複数のオートコール（以下、参照オートコール）の損益特性を再現し、その成果に連動するリターンの獲得を目指します。
- **複数の大型株を参照**
  本 ETF は、複数の銘柄（10～15 社）を参照し、各参照オートコールは米国の取引所に上場する大型株（金融セクターを除く、情報技術やコミュニケーション・サービスなどの革新的な企業を対象）1 銘柄に連動します。
- **定期的なクーポン収益**
  約 3 カ月ごとの観測日に参照銘柄の株価を確認し、当初価格と比較して所定の条件を満たしている場合にクーポンを受け取ります。
- **一部の参照オートコールは、条件を満たすと早期終了**
  観測日に参照銘柄の株価が当初価格以上となった参照オートコールは早期終了し、回収された想定元本相当額は、その時点で新たに組成される参照オートコールへ再投資されます。なお、本 ETF 自体が早期償還されるものではありません。
- **満期の分散（時間分散）**
  本 ETF では、期間 12～24 カ月の参照オートコールを、満期が 1 カ月ずつずれるように組み合わせ、原則として毎月 1 本ずつ満期を迎える設計としています。満期時の損失の影響を一部の契約に限定するとともに、入れ替えの都度、その時点の株価を基準に新たな契約へ再投資することで、当初価格の分散も図ります。
- **株価下落時には元本が減少する可能性**
  参照銘柄の株価が大きく下落した場合には、クーポンが支払われないほか、満期時に想定元本相当額が減少する可能性があります。

【観測日ごとに起きる 4 つの状態】

① 早期償還

【条件】観測日の参照株価が当初価格以上

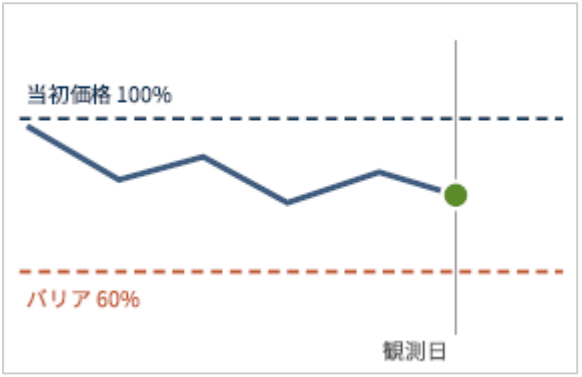


その観測日のクーポンを受け取ったうえで、想定元本の 100%が戻り、契約は終了します。以降のクーポンは受け取れません。戻った資金は、その時点の市場環境に合わせた新しい参照オートコールに再投資されます（新しいクーポン率・バリア水準で再スタート）。

［ポイント：参照株価が上がっても、受け取れるのはクーポンと想定元本までです。値上がり益そのものは得られません。］

② クーポン受取・継続

【条件】観測日の参照株価が当初価格未満、かつクーポン・バリア（60%）以上

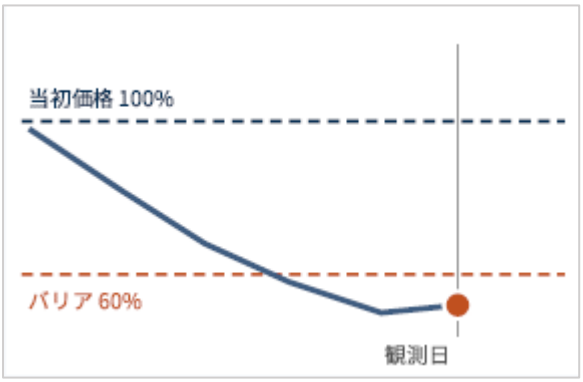


参照株価が当初価格を下回っていても、下落が 40%以内にとどまっていれば、その観測日のクーポンを受け取れます。契約は早期償還されずに継続し、次の観測日に改めて判定します。

［ポイント：参照株価が多少下がっている局面でも、クーポンを受け取れるのがオートコールの特徴です。］

③ クーポン無し・継続

【条件】観測日の参照株価がクーポン・バリア（60%）未満

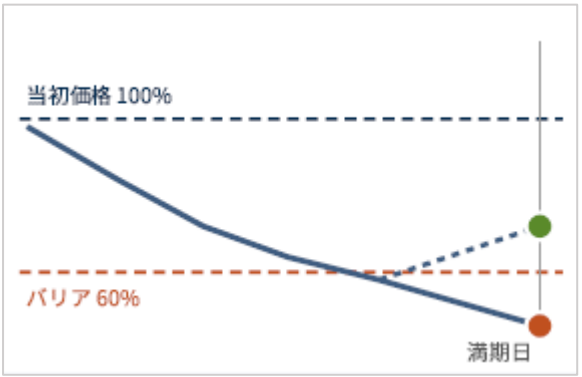


その観測日のクーポンは支払われません。ただし契約はすぐには終わらず、次の観測日まで続きます。次回以降の観測日に参照株価がバリア以上に戻れば、クーポンの支払いは再開されます（支払われなかった回の分がさかのぼって支払われることはありません）。

［ポイント：クーポンが支払われない期間が続くと、ファンドの分配金が大幅に減ったり、支払われなかったりする場合があります。］

④ 満期日の判定

【条件】早期償還されないまま満期日を迎えた場合



満期日の参照株価が満期バリア（60%）以上なら、参照株価が当初価格を下回っていても、想定元本の 100%が戻ります。満期バリア未満の場合は、当初価格からの下落率と同じ割合で想定元本が減ります（例：参照株価が当初価格から 50%下落していれば、想定元本の 50%を失います）。

［ポイント：バリアを下回った部分だけでなく、当初価格からの下落分すべてが損失になる点に注意が必要です。］

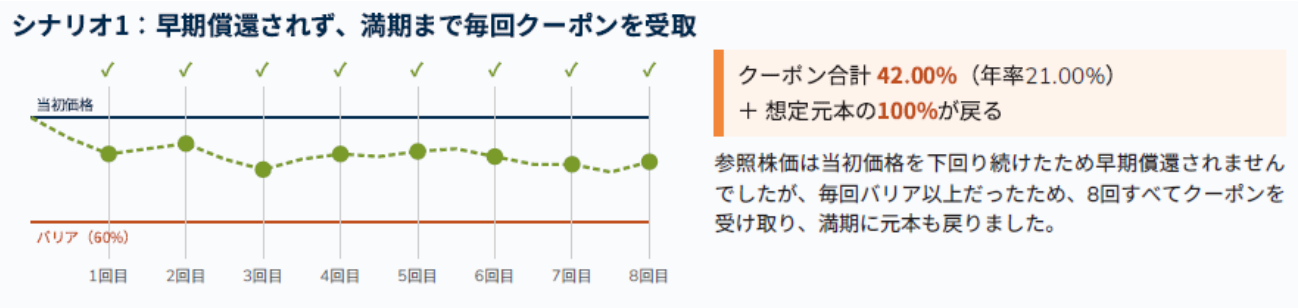
【数値例で見る 4 つのシナリオ】

以下、1 本の参照オートコールについて、次の条件を仮定した例です。

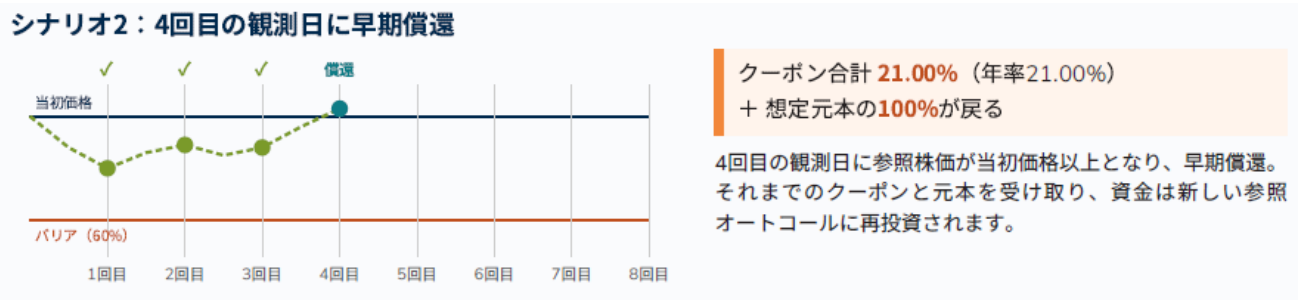
【想定元本：100%／期間：24 か月（観測日は 3 か月ごとに計 8 回）／クーポン：1 回あたり 5.25%（年率 21%）／クーポン・バリアおよび満期バリア：当初価格の 60%】

※　○＝観測日の株価、✓＝クーポンあり、×＝クーポンなし。

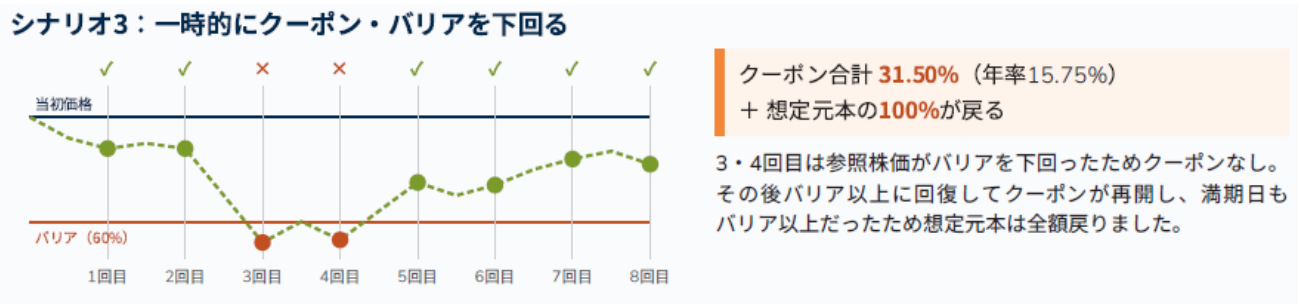
■ シナリオ 1：早期償還されず、満期まで毎回クーポンを受取



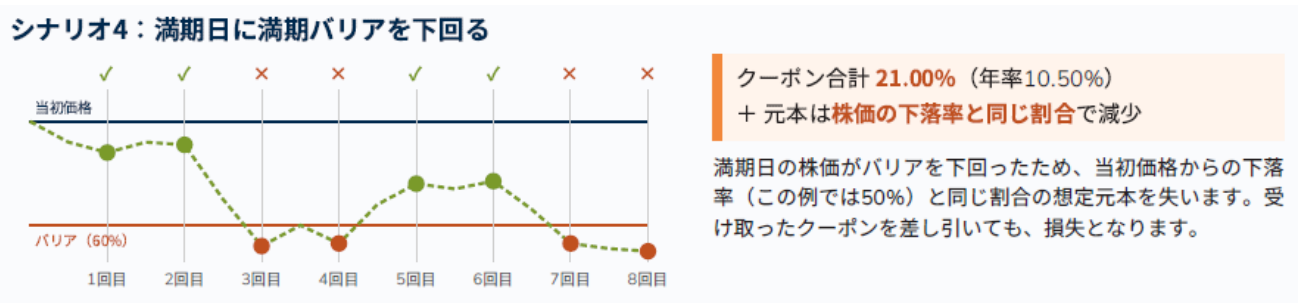
■ シナリオ 2：4 回目の観測日に早期償還



■ シナリオ 3：一時的にクーポン・バリアを下回る



■ シナリオ 4：満期日に満期バリアを下回る



■ファースト・トラスト社とは

ファースト・トラスト社（米国イリノイ州）は、1991 年設立以来 30 年以上にわたり、特徴的なテーマ・セクターETF を多く取り揃える大手 ETF 運用会社です。長期投資をベースに株式や債券の ETF に加え、テーマ型、アクティブ運用、下落緩和型のバッファーETF など、300 本超の多様な ETF を運用しております。

運用管理資産残高は、2026 年 9 月末時点で 3,730 億米ドル（約 58 兆円、1 ドル＝157.35 円）になります。

また、バロンズ「ベスト・ファンドファミリー」（2025 年）でワールド・エクイティ部門第 1 位、ブロードリッジ「Fund Brand 50」（2024 年）で米国の資産運用ブランドトップ 10 に選出されています。

事業展開：米国、カナダ、ヨーロッパ、ラテン・アメリカ、日本、イスラエル

ホームページ：https://www.ftportfolios.jp/

■お取引にあたってのご留意事項

当社で取扱う商品等へのご投資には、所定の手数料や諸経費をご負担いただく場合があります。また、各商品等には為替や価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。米国株式等の売買等にあたり円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向を踏まえて当社が決定した為替レートによるものとします。米国株式等のお取引では、株価の変動、為替相場の変動、発行者等の信用状況の悪化等により、損失が生じるおそれがあります。米国株式のお取引には、現地委託取引の場合、約定代金に対し一律 2.20%（最低 3,300 円／税込）の委託手数料および現地諸費用等がかかります。国内店頭取引の場合は、基準価格から所定のスプレッドを考慮して当社が提示する店頭売買価格でお取引いただきます。商品毎に手数料およびリスクは異なりますので、当該商品等の 契約締結前交付書面や目論見書等をよくお読みください。

■オートコールの仕組みを活用した ETF の主な投資リスクについて

リスク	内容
元本・クーポンは保証されません	参照オートコールは元本およびクーポンの支払いを保証するものではありません。
満期バリア割れによる損失	満期日に参照銘柄が満期バリアを下回った場合、バリアを下回った部分だけでなく、当初価格からの下落分すべてが損失となります。
クーポン・分配金の減少	観測日に参照銘柄がクーポン・バリアを下回った場合、その回のクーポンは支払われず、分配金が大幅に減少または支払われない場合があります。
上昇益の限定・再投資リスク	早期償還条項により、参照銘柄の上昇による利益は得られません。早期償還後は、同等の条件で再投資できるとは限りません。
デリバティブ・取引相手方のリスク	スワップ取引等のデリバティブを利用するため、取引相手方の信用リスク、評価リスク、流動性リスク、レバレッジに伴うリスクがあります。
集中リスク	参照銘柄が少数の企業・業種（情報技術など）に集中する場合があり、特定の企業や業種の動向の影響を大きく受けることがあります。
為替変動リスク	米ドル建ての外国ETFのため、円で投資する場合は為替変動により円換算の価値が変動します。

ACYQは、従来の投資商品とは異なる特性を持ち、すべての投資家に適しているとは限りません。ACYQには、投資家がその特性および基礎となるリスクを十分に理解することを困難にする複雑な仕組みが含まれています。上記はすべてのリスクを網羅したものではありません。詳細は英文目論見書をご確認ください。

■JTG 証券について

JTG 証券は、60 年を超える歴史と信頼を礎に、「グローバル投資」「スタートアップ支援」「ウェルスマネジメント」の 3 つの成長領域を柱として、新たな価値の創造に取り組む証券会社です。

「Break Convention, Build Futures.（未来は、常識の先にある）」を掲げ、既存の常識や慣習にとらわれない金融サービスを提供しています。ウェルスマネジメントでは、富裕層のお客さま一人ひとりのニーズに寄り添い、新しい資産管理・資産活用のあり方を提案しています。

以上

＜この件についてのお問い合わせ＞
Jトラストグローバル証券株式会社　総合企画部
電話番号　　03-4560-0212
メールアドレス　　keiei_support@ma.jtg-sec.co.jp

金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第 35 号
貸金業者登録番号　東京都知事(2)第 31946 号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、日本貸金業協会会員　第 006278 号